

WEALTH GROWTH「SAMURAI 25」

月間運用実績レポート（2026年8月）

■ パフォーマンス

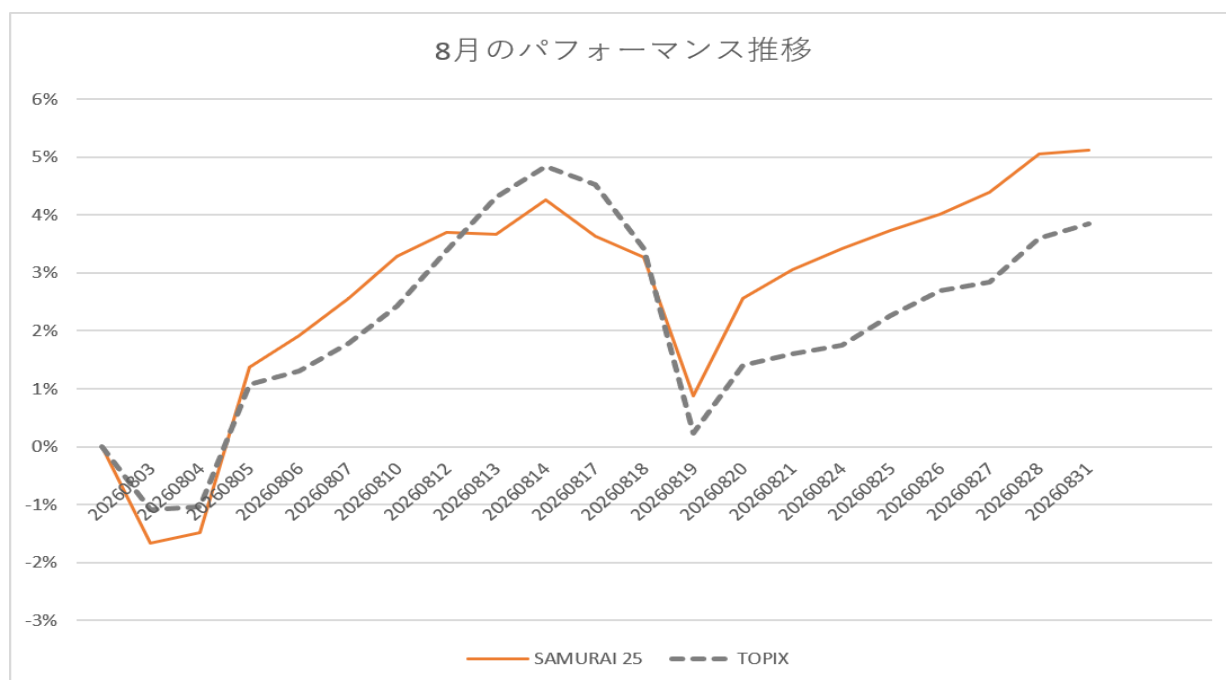
➤ ファンドの月間パフォーマンス

SAMURAI 25	+5.12%
------------	--------

➤ 各指標の月間騰落率

TOPIX	+3.82%	(配当込み)	+3.85%
日経225	+3.03%		
NYダウ	+1.34%		
S&P500	+2.62%		
NASDAQ	+3.93%		

➤ 8月のパフォーマンス推移



	過去1カ月	過去3カ月	過去6カ月	過去1年	設定来
SAMURAI 25	5.12%	6.61%	-2.10%	38.11%	246.21%
TOPIX	3.85%	5.17%	6.77%	38.28%	170.83%
超過収益	1.27%	1.44%	-8.86%	-0.16%	75.38%

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。また、買付手数料・運用手数料・税金・売買コスト等は含まれておりません。

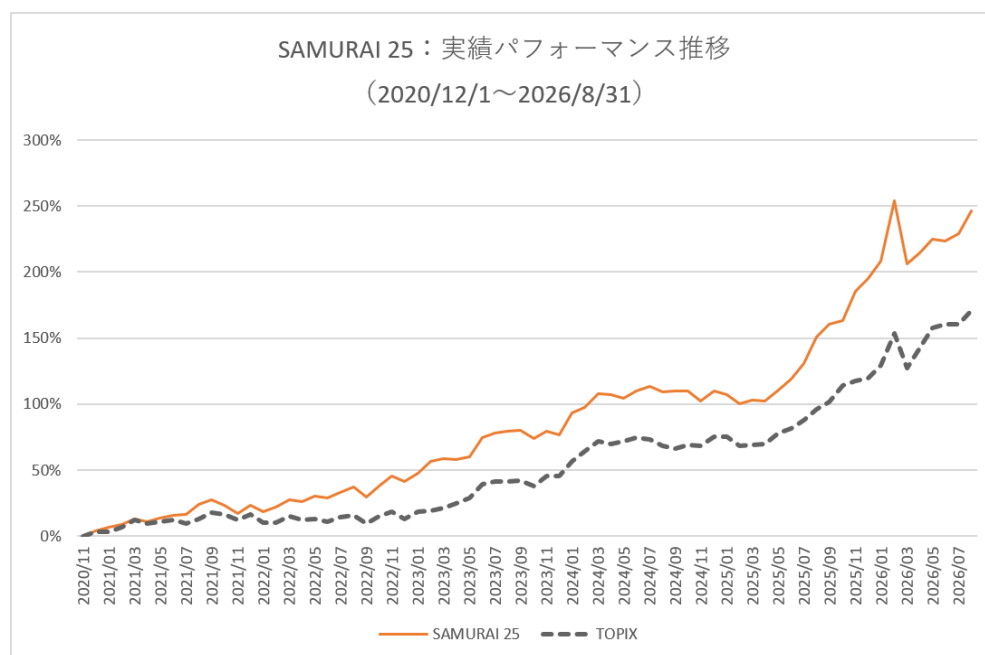
※実際にお客様へご提供したモデルポートフォリオをもとに、配当込みリターンを用いて算出しています。

※数値は小数点以下3桁目を四捨五入した値を表示しています。

SAMURAI 25の8月の運用成績は+5.12 %（配当込み）となり、TOPIXは +3.85 %（配当込み）、対ベンチマーク比で+1.27 %（配当込み）となり、ベンチマークをアウトパフォームする結果となりました。

➤ **設定来のパフォーマンス推移グラフ**

SAMURAI 25の2020年12月1日（サービス開始）から2026年8月末までの運用実績です。



運用成績	SAMURAI 25	TOPIX
年間リターン(2021年)	18.73%	12.74%
年間リターン(2022年)	14.59%	-2.45%
年間リターン(2023年)	24.43%	28.26%
年間リターン(2024年)	18.72%	20.45%
年間リターン(2025年)	40.72%	25.46%
年間リターン(2026年)	17.29%	23.39%
累積リターン(2020/12-2026/8)	246.21%	170.83%

リターン（年率換算）	24.11%	18.92%
リスク（年率換算）	14.21%	12.24%
下方リスク(年率換算)	7.46%	6.65%
シャープ・レシオ	1.70	1.55
ソルティノ・レシオ	3.23	2.84

※「SAMURAI 25」は、スマートプラスが提供する他の日本株投資一任運用サービスにおいて、すでに運用実績がある投資戦略に基づく運用手法をもとに開発した運用エンジン「+alpha japan」を搭載したサービスです。運用実績には、「+alpha japan」を採用した他の運用商品による2020年12月～2025年7月までの実績が含まれています。

※上記は過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。また、買付手数料・運用手数料・税金・売買コスト等は含まれておりません。

※実際にお客様へご提供したモデルポートフォリオをもとに、配当込みリターンを用いて算出しています。

※数値は小数点以下3桁目を四捨五入した値を表示しています。

■ 8月の市況概況

➤ 日本市場

8月の日本市場は、日米金利差縮小の期待と積極財政に伴う財政懸念という、相反する長期金利上昇要因が対立する過渡期となりました。巨額の為替介入を経ても実需の円売りは根強く、10年物国債利回りの30年ぶり高水準到達が、株価の乱高下と二極化を主導しました。

・第1週（8月3日～8月7日）／日経225 +1.93% TOPIX : +1.79%

協調為替介入実施とAI半導体株を主導とする乱高下

日米が15年ぶりの為替協調介入（12兆円規模）を実施しドル円は155円台へ急落。輸出企業の業績懸念で株価は一時急落するも、好調な国内4-6月期決算（営業利約23%増）を支えにアドバンテスト等のAI半導体株に買い戻しが殺到し大幅上昇。週末は大型ハイテクの決算嫌気で反落しました。

・第2週（8月10日～8月14日）／日経225 : +4.74% TOPIX : +3.00%

米金利低下に伴う反発と国内早期利上げ観測の台頭

米雇用統計下振れで早期利上げ懸念が後退、日経平均は6万8000円台を回復。一方、7月の国内企業物価指数は前年比7.2%と高止まり、7月の金融政策決定会合の主な意見で早期利上げに前向きな意見が判明したことで9月の利上げ確率が急上昇。介入効果が薄れる中でドル円は159円台へ戻しました。

・第3週（8月17日～8月21日）／日経225 : △3.93% TOPIX : △3.10%

日米金利上昇に伴う債券売り連鎖と株価下落

積極財政への懸念や日銀早期利上げ観測で、長期金利は一時2.945%と30年ぶり高水準へ上昇。米超長期金利上昇も重なり債券売りが連鎖、不動産や半導体株を直撃し日経平均は暴落。週末は米金利低下やSKハイニックスの自社株買い好感から自動車等に買い戻しが入りました。

・第4週（8月24日～8月28日）／日経225 : +0.59% TOPIX : +1.95%

NVIDIA決算への複雑な反応

NVIDIAが好決算を発表する一方、製品出荷の見通し難からキオクシアが下落。氷見野副総裁の利上げ継続発言で早期追加利上げ観測が維持される中、最大15.4兆円の介入実績が公表されましたが、ジャクソンホール後の米金利急騰に抗えずドル円は再び160円台となりました。

・第5週（8月31日）／日経225 : △0.14% TOPIX : +0.23%

米中銀への協調圧力

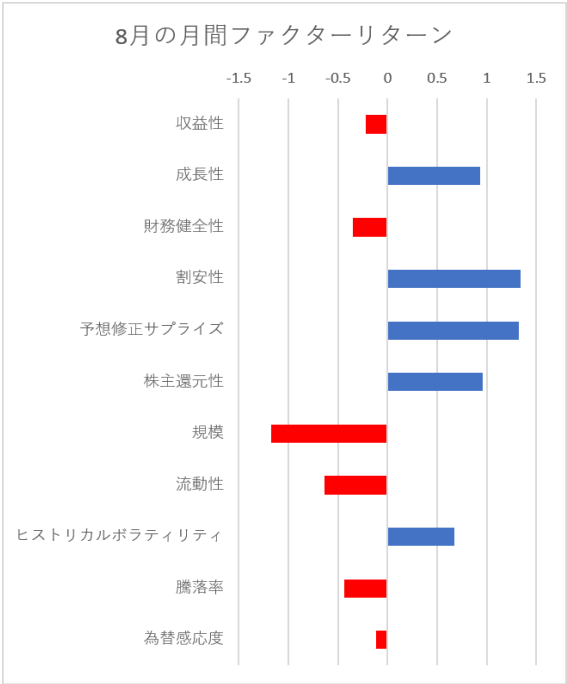
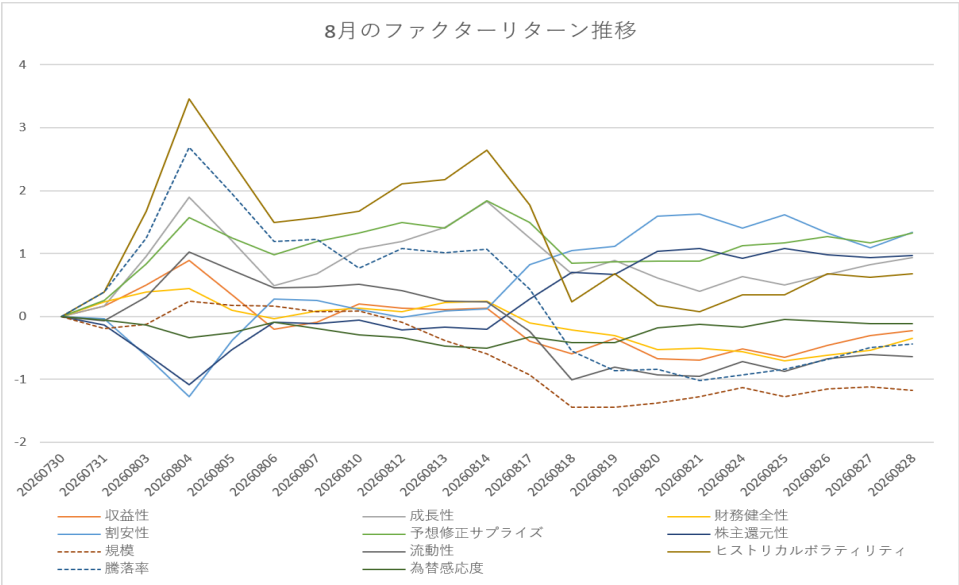
ベッセント米財務長官が利上げによる円安是正を促す円高容認発言を行い、日米財務相会談への思惑が台頭。一方、27年度予算概算要求は過去最大143兆円規模となり、「責任ある積極財政」を掲げる高市政権と米国による日本のリフレ政策是正を促す思惑が交錯する状況となっています。

月間パフォーマンスの背景

➤ ファクター動向

8月は、好業績の中小型バリュー株が堅調となりました。

ファクターの推移を見ても、割安性ファクター・予想修正サプライズファクター・成長性ファクター・株主還元性ファクターが大きくプラスとなる一方、規模ファクターが大きくマイナスとなり、ハイリスクのグロース株の調整が継続するなか、金利上昇に強い好業績の中小型バリュー株が相対的に堅調となったことが見て取れます。



その様な市況環境のなか、

SAMURAI 25は、市場平均であるTOPIXをアウトパフォームする結果となりました。SAMURAI 25がTOPIXをアウトパフォームした要因は、SAMURAI 25が持つバリュー要素の「割安・高配当」特性及びグロース要素の「成長性」特性がプラスに寄与、さらに、市場平均よりも「オーバーウエートしている予想修正サプライズファクター（＝好業績特性）」もプラスに大きく寄与したためです。

7月に入ると、AI・半導体関連の大型株に集中していた資金は、出遅れ傾向にあった割安の中小型株へ分散し始め、8月は金利上昇による割高銘柄のバリュエーション調整も加わり、さらにそれが加速しました。

本レポートで度々言及していますが、

AI関連銘柄の成長性の高さは誰もが否定するものではありませんが、無限の成長を織り込み続けることは、もはや、バブルに近い発想であり、「上がるから買う、買うから上がる」という上昇モメンタム（勢い）を追う投資は、ひとたび買い手が引けば急落につながるハイリスクなものです。

やはり、長期投資を目的とするのであれば、値動きだけに振り回されることなく、精緻なリスク管理とファンダメンタルズ（業績や財務）を重視したポートフォリオを運用し続けることが重要ではないでしょうか。

SAMURAI 25は、守りの「高配当・割安」特性、攻めの「高収益・高成長」特性、そして株価の起爆剤（カタリスト）となる「業績上方修正」特性を兼ね備えた、バランスの良いポートフォリオを運用し続けており、価格変動が大きな市場環境において、これまでも実績を残してきました。

バランスの良い「本質的価値のある銘柄群を保有する」という運用哲学を変えることなく、実績ある運用戦略を一貫して行うことが重要と考えています。

➤ 個別銘柄寄与度

寄与度上位5銘柄

No	銘柄コード	銘柄名	組入比率	寄与度	
1	5857	A R Eホールディングス株式会社	3.3%	1.199%	貴金属リサイクル（金・銀・プラチナ等）の最大手。歯科・電子部品スクラップからの貴金属回収・精錬や、産業廃棄物処理などの環境保全事業を展開しています。歴史的な金・プラチナ等貴金属価格の高騰が強い追い風となり、業績・配当予想を上方修正。北米における精錬事業の収益改善も進んでおり、堅調な業績を維持しています。貴金属相場上昇の直接的な恩恵と、株主還元政策（配当性向40%目安）の明確さが投資家から高く評価されています。
2	8707	岩井コスモホールディングス株式会社	5.9%	0.695%	中堅の対面型証券会社グループ（岩井コスモ証券を傘下に持つ持株会社）。個人投資家向けの対面営業とオンライン取引を融合させたハイブリッド型取引に強み。新NISA制度の浸透や国内株式市場の活況を背景に、売買手数料収入や受入手数料が大幅伸長。高い自己資本比率と安定した配当姿勢が特徴です。
3	4206	アイカ工業株式会社	2.4%	0.615%	化成品（接着剤等）と建装・建材（メラミン化粧板等）の大手化学メーカー。メラミン化粧板で国内シェア圧倒的首位を獲得しています。国内の都市再開発需要や、オフィス・店舗などの非住宅向け建築資材の需要が堅調に推移。環境配慮型建材の開発や海外（東南アジア等）での化成品事業の強化を進めています。独自のニッチ市場での高いシェアと安定的なキャッシュ創出力は評価されています。
4	8628	松井証券株式会社	4.4%	0.610%	ネット証券のパイオニア。個人投資家向けに株式、FX、投資信託などのオンライン取引サービスを提供。投資信託の信託報酬還元施策など新NISA獲得に向けた取り組みを強化。株式市場の活況による売買代金の増加を受け、預かり資産残高および口座数は堅調に推移しています。高い配当利回りも評価されています。
5	8015	豊田通商株式会社	4.7%	0.501%	トヨタグループの総合商社。自動車部品・車両の輸出入・現地生産支援を柱に、金属、化学品、アフリカビジネス、再生可能エネルギー（洋上風力等）に強み。トヨタ自動車の世界生産の底堅さを背景に、自動車バリューチェーン事業が極めて安定して推移。脱炭素（再エネ）分野やアフリカ地域での投資を加速させています。他商社に比べて資源市況への依存度が低い強固な収益構造と、今後の成長市場での先行優位性が評価されています。

■SAMURAI 25の目的・特色

1. 目的

予測が困難な市場構造の変化（金利・為替などの外部要因）の影響を極力排除し、TOPIXを凌駕するパフォーマンスを目指します。

2. 戦略の特色

特色 1：市場構造の予測を必要としない、全てのレジームで機能する汎用性の高いマルチファクターモデルによるクオンツ運用を行います。

特色 2：東証プライム市場に上場する約1,600銘柄の詳細な市場及び財務データを活用します。

特色 3：銘柄選択において、「高収益・高成長」×「財務健全」×「割安・高配当」×「好業績」のバランスの良いモデルを活用します。

特色 4：組入れ銘柄数は20～25銘柄程度の集中投資、業種分散は市場構成比並みとし、リスクはTOPIX ±15%程度となるよう毎月リスク調整のリバランスを行います。

3. 戦略のコンセプト

・SAMURAI 25のコンセプトは、誰もできない将来の予測よりも、

「リスク管理と損失回復力を重視した運用で資産を成長させる」ことにあります。



・損失の回復力が運用にとって極めて重要な理由は、

「損失よりも、利益が大きい投資」を続けていけば、いずれ利益が損失を上回る確率が高い運用となるためです。

・回復力を示す運用指標ソルティノ・レシオ※を最大化

ソルティノ・レシオの最大化のために、AI にファクターの組み合わせを見つけ出させた結果、下記が、市況の予測を必要とせず、全ての市況で機能することが分かりました。

※ソルティノ・レシオとは、リターンの方リスクのみの標準偏差を利用し損失のみに注目して効率を評価する尺度です。
計算式は、年率換算リターン／年率換算下方リスク。

「高収益・高成長」×「財務健全」×「割安・高配当」×「好業績」

4. ファクターの説明

SAMURAI 25は、ファクターに基づく運用を行っており、ファクターは以下を採用しています。

	ファクター	代表的ファクター構成指標
1	収益性	売上高営業利益率、ROE、ROA、等
2	成長性	売上高成長率、経常利益成長率、等
3	財務健全性	財務レバレッジ、CF負債比、等
4	割安性	経常利益株価比、自己資本株価比、等
5	予想修正サプライズ	経常利益修正率、等
6	株主還元性	配当利回り、等
7	規模	上場時価総額、等
8	流動性	売買代金20日平均、等
9	ヒストリカルボラティリティ	ヒストリカルボラティリティ60日、等
10	騰落率	60日騰落率、等
11	為替感応度	ドル円に対する感応度

5. リスク管理

SAMURAI 25は、回復力が高いポートフォリオを構築する際の最適化条件として、

- ① 銘柄数を、20～25 銘柄としています
- ② 1 銘柄、10%以上保有しないようにしています
- ③ 特定業種に偏重しないようにしています
- ④ 上記の様な、十分なリスク分散を考慮した上で、損失回復力が最大となるよう、AI による最適化を行っています
- ⑤ また、エクスポージャーを監視し、ポートフォリオのリスク特性を維持するよう、定期的にリバランスを行いリスク管理を行っています

以上

※本レポートは、2026年 9月4日時点の情報に基づき作成されております。

(提供：株式会社スマートプラス)

免責事項

ご留意事項

「WEALTH GROWTH」は、株式会社スマートプラスが提供する投資一任運用サービスです。Jトラストグローバル証券株式会社は「WEALTH GROWTH」の業務委託先として、お客様と株式会社スマートプラスとで交わす投資一任契約締結の媒介を行っております。

「WEALTH GROWTH」へのお申込、契約、お取引に関するお客様の情報に関して、株式会社スマートプラスより当社は媒介業務の範囲で業務委託先として個人情報の共有を受けております。

<業務内容について>

Jトラストグローバル証券株式会社は、本サービスにおける株式会社スマートプラスとお客様との間の投資一任契約の締結に係る媒介を行う役割を担い、以下の業務を行います。株式会社スマートプラスは、投資運用業を行う役割を担い、以下の業務を行います。

【Jトラストグローバル証券株式会社】

- 対面または電話等による投資一任契約等および投資一任サービスの内容の説明や契約締結の媒介に係る勧誘
- 口座開設画面や投資一任運用サービス画面への誘導・操作の案内
- 入金状況・取引状況に関するお客さまから照会への対応
- 株式会社スマートプラスからお客さまに提供される各種報告書等に関するお客さまからの照会への対応
- 株式会社スマートプラスから提供されると投資一任運用サービスに係るシステム等を経由して取得可能な情報に基づくお客さまからの照会等への対応（入出金日、取引日、個別銘柄の売買内容等）
- 投資一任運用サービスに基づきお客さまに提供されるポートフォリオのパフォーマンス、組入銘柄の内容やパフォーマンス等に関する客観的な情報等の提供

【株式会社スマートプラス】

- 投資一任契約の説明および締結（契約締結前書面、契約締結時書面の交付）
- 入出金に係る手続き
- 投資一任運用サービスに係る運用ポートフォリオの構築・リバランスに係る売買の執行
- 取引および残高に係る報告および運用に係る報告

重要事項

<手数料など諸費用について>

「WEALTH GROWTH」をお客様が利用するに当たり、以下の手数料を負担していただきます。詳細は、株式会社スマートプラスが電磁的方法等によりする契約締結前交付書面等にてご確認ください。

- 購入時手数料（運用コース増額申込時に、増額金額に対して負担していただく費用です。投資環境の説明や情報提供等、ならびに契約締結に必要な事務コストの対価としてお支払いいただく費用となり、業務委託を行っている場合、株式会社スマートプラスから業務委託先に支払う費用が含まれます。）

- サービス利用料（運用資産の時価評価額に対し負担していただく費用です。ポートフォリオのリバランス（銘柄の入れ替え等）、各種レポートや報告書の作成等、およびシステム運営等に必要コストの対価としてお支払いいただく費用となります。）

<投資一任契約（ウェルスグロース）に係るリスクについて>

本サービスにおける投資一任契約に基づく運用は、値動きのある有価証券（米国株式または日本株式の個別銘柄）を投資対象としているため、当該有価証券の上場市場における取引価格の変動や為替の変動等により運用資産の価値が変動します。従って、本サービスは投資元本が保証されるものではなく、投資一任契約に基づきお客様からお預かりした資産の当初の評価額（投資元本）を下回ることがあります。本サービスにおける主なリスクは以下のとおりです。ご契約に当たっては契約締結前交付書面をよくご確認ください。

【相場変動リスク】

お客様が所有するポートフォリオを構成する米国または日本の上場株式（コースにより異なります。以下、「上場株式」という。）は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動に伴い価格が変動します。本サービスは、その影響を受けてお客様が所有するポートフォリオの時価評価額が大きく変動し、投資元本を割り込む場合があります。

【信用リスク】

お客様が所有するポートフォリオを構成する上場株式の発行者などの信用状況に変化が生じた場合、当該上場株式の市場価格が変動することによってお客様が所有するポートフォリオの時価評価額が大きく変動し、投資元本を割り込む場合があります。

【流動性リスク】

上場株式は、市場環境の変化等により取引に支障をきたし、売却できない場合があります。本サービスはその影響を受けて換金できないリスクがあります。

【カントリーリスク】

通貨を発行する国家固有の政治的・経済的な変動等により投資元本を割込んだり、途中売却が困難になる可能性があります。また、政府等による突発的な取引規制が行われた場合、円を含む他通貨への交換に影響がでる可能性があります。

【為替リスク】（米国株式コースおよび米ドル預かり金のみ）

本サービスにおける投資一任契約に基づき投資運用される米国上場株式および米ドル預かり金（以下、「米国上場株式等」という。）は、為替相場（円貨と外貨の交換比率）が変化することにより、為替相場が円高になる過程では円貨換算した価値は下落し、逆に円安になる過程では円貨換算した価値は上昇します。したがって、お客様が所有するポートフォリオを構成する米国上場株式等の日々の円貨換算の時価評価時および売却時の為替相場の状況によっては為替差損が生じるおそれがあります。本サービスは、その影響を受けてお客様が所有するポートフォリオの時価評価額が大きく変動し、投資元本を割り込む場合があります。また、本サービスにおける各種手数料等の費用の徴収に伴い為替取引を行う際に、為替相場の変動により円貨換算した費用の額は変動します。

【投資一任契約の媒介業者】

Jトラストグローバル証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第35号 貸金業者登録番号 東京都知事(1)第31946号

加入協会:日本証券業協会、一般社団法人資産運用業協会、日本貸金業協会会員 第006278号

【口座管理機関】

株式会社スマートプラス

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3031号

加入協会:日本証券業協会、一般社団法人資産運用業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会